

あ・うん

金剛禅総本山少林寺広報誌

vol.
98

2025 睦月・如月

謹賀新年

誰もが生きがいを持つ

平和で豊かに暮らせる社会の実現

皆様のご健勝を祈念いたします

金剛禅総本山少林寺管長 大澤 隆

特集 / 新春座談会 2025

— 情熱の炎を未来へ繋ぐ —

情熱の炎を未来へ繋ぐ

2024年9月、本山にて“炎”が上がった。2泊3日の「中堅道院長“鍛錬”特別合宿」に集まった道院長たちによる、情熱の炎だ。本合宿は、教団の未来を背負う50代以下の道院長を対象に、創始80周年（2027年）では、参加者が自信をもって各地域の布教を先導できることを目的として行われたものである。新年の始まりに、希望と情熱あふれる思いを、合宿参加者のうちの4名に語っていただいた。



奈良県 木津道院
たけざわ みつひろ
竹澤 光広 道院長

熱い想いを胸に、
県を引っ張っていける存在に

自分を磨き、会いたい



福岡県 福岡大野城道院
まつだ かずこ
松田 和子 道院長

と思われる道院長に



群馬県 前橋橋道院
さとう やすよし
佐藤 靖宜 道院長

少林寺拳法「で」学び、
それを社会に生かす

人のために行動できる



岡山県 岡山吉備道院
よしだ まさのり
吉田 将則 道院長

人を育てていきたい

燃え盛るような

参加してみたいかがでしたか。

吉田 とにかく熱かったですね。2泊3日という長い時間でしたが、あっという間でした。今まで参加してきた行事の中でも特に価値があったと感じました。

松田 「十(足し算)」ではなく「x(掛け算)」のような合宿でした。参加者同士がただ集まっただけでなく、気持ちが高め合い、熱量が倍に倍に上がっていく感じがしました。

佐藤 「鍛錬」という言葉が入っていたので、「一体どんな厳しい合宿なんだろうか」とビクビクしていました。素晴らしい合宿でした。講師となっていた研修企画プロジェクト委員の皆さんも一緒になって、燃え盛る炎の中にいたような充実した時間でした。

竹澤 私の少林寺拳法人生の転機となる合宿だったと思います。どんな行事でも、終わったときは「がんばってやっていこう」という気持ちには起こりますが、しばらくすると消えてしまうことが多いですね。でも、今回の合宿は、終わって1か月が経った今も心の火が消えていない。それだけ本物の気持ちを持つことができたのだと思います。

今回の合宿にかけた思い

なぜ今回の合宿に参加しましたか。

竹澤 チラシを見たとき、定員40名で、しかも選考があると聞いていたので、全国から特に意識の高い人が集まってくるのだろうな、と思いました。現在、奈良県少林寺拳法グループでは50代60代の先生方が中心になって運営をされており、私(40代)もお手伝いはさせてもらっていますが、「まだまだ道院長歴も浅い」という意識が抜けずに消極的になっていました。この合宿に参加することで、意識の高い同年代の道院長か

ら刺激を受け、自分を変えることができたかと考え、申込をしました。

松田 道院長になってから15年が過ぎて、ちょうど悩んでいることがありました。道院だけではなく、福岡県全体のことも考える立場をいただいて、そちらにも力を注がなければならなくなってきた。これからの私を問い直す時間になればと思っただけです。だから、最初のガイダンスで、合宿中は「先生」と呼び合わない、というルールを伝えられたとき、嬉しく思いました。肩書を一旦忘れ、全員同じ立場の人間として共に時間を過ごす。最後は皆、自然と自分の都道府県を背負って帰ったと思います。

吉田 大澤管長のことを「おーちゃん」と呼ぶとは思っていなかったですね(笑)。私も、岡山県の次世代を担うために参加した部分が大きいです。全国的に見ると、40代50代の方々が次世代を担っていくような年齢構成になっていますが、岡山県では、30代の私も間もなく中心となっていくと思います。この合宿には、同じように未来を背負うような道院長が全国から集まると聞いていたので、きつと多くの学びがあるだろうと考えました。

佐藤 少林寺拳法の道院長であるとともに拳士である以上、どんな立場になっても刀を研ぐように修行し続ける必要があると思っています。だから私は、「僧房羅漢」という文字を

見たとき、そのチャンスだと思いましたが。本山内の宿泊施設を使うので、夜までどっぴりと修練をしたり、語り合ったりする合宿になりそうだと期待できました。実際その通りで、夜は多くの自由時間を取っていただいたので、まるで学生時代のように、皆で修練したり、語り合ったりすることができました。

自身の道院だけではなく、少林寺拳法全体を考えられているところに皆さんの共通点が見られます。

竹澤 確かに、私の土台は木津道院ですので、まずはしっかりと道院運営をやりたいです。道院の子どもたちといくと楽しいし、子どもたちの成長を近くで感じることは、何より幸せに感じます。一方で、自分の道院だけで少林寺拳法が成り立っているわけではなく、県のことでも誰かがやらなければいけません。他人事と思わずに、しっかりと自分自身で考えていかなければ、と思えるようになりました。

松田 少林寺拳法を修行していると、自分と他の調和など、無意識に行動に現れます。普段の仕事ではやはり結果を求められますが、それがお客様との関係構築などに繋がりに、ダイレクトに結果となって見えてくるんです。だからこそ私自身も修行を続けるモチベーションになりますし、こういった良さをもっと多くの人に伝えていきたいと思っています。

特集

吉田 目に見えづらいですが、修行を通じて、自然といろいろなことを学べます。小さなことですが、物を整理することや、リーダーシップを取ることも、他の仕事仲間のことを考えて行動することなどができるようになります。道院の子どもが、時間をみて「並ぼう」と声掛けをしてくれるようになるのを見ると嬉しいですね。もっと多くの人に修行の仲間になってもらいたいです。

佐藤 道院の拳士の成長が見えたときが、道院長をやっている本当によかったと感じる瞬間ですよ。「技ができる」「や」靴を揃えられる」というような、道場内で見える成長ももちろんですが、学校でもみんなの前で発表ができるようになったとか、生徒会長になったとか、家族や学校の先生から伝えてくれる成長はより一層嬉しいです。私たちがやっていることが、ただ道院のただで留まるものではなく、社会貢献に繋がっていると感じることができているからです。

今後の道院、少林寺拳法

— 今後の目標を教えてください。

竹澤 少しでも早く奈良県を引っ張っていきけるような存在になりたいです。道院では子どもたちに「リーダーになれよ」と言っています。反面、自分自身は先輩道院長の先生方に、引っ張ってもらおう立場に甘ん



じていることに矛盾を感じていました。しかし、この合宿で、熱意のある人たちに出会い、刺激を受け、積極的にやってみようと思える自分になりました。

松田 これまで少林寺拳法を牽引してこられたベテランの先生たちは、皆力ツコいいですよ。私も、「あのおばちゃんにはかなわね」でも、なんかたまに会いたくなるよね」と思われるような道院長になりたいです。そのためには自分をいつも磨いて、小さな積み重ねを続けたいと思っています。

吉田 今回の合宿をきっかけに、開祖が生きていた時代に思いを馳せるようになりました。自分が生きるこ

とに精一杯だったとしても、他の人のために行動できる。そういう人を見て育っていきたくて改めて思いました。

佐藤 私の道院は15周年を迎えます。当初から目標にしていた、子どもも大人も集える場所には段々となってきたと思います。今後は、道院から離れても一人でやっていけるような拳士を、育てたいからと思っています。少林寺拳法「を」学ぶのではなく、少林寺拳法「で」学び、それを社会に生かしてもらいたい。会社の中で重要な立ち位置になつてくれるのもいいし、起業してもいい。自分で道院を立ち上げて、同じように人づくりの道に入っていくのもいいな、と夢んでいます。そうすることで、ひいては少林寺拳法の認知度も信頼性も、そして人からの期待も高まっていくのではないかな、と考えています。

松田 地域の人たちにも、「少林寺拳法の人たちってなんか違うよね」「頼んだら必ず返してくれるよね」と思われるようになりたいですね。地域で認められて、リーダーシップをとって何か行動を起こしていけば、灯台のように地域を照らしていくはず。それが少林寺拳法を盛り上げることに繋がると思っています。

この火を絶やさないように

竹澤 合宿の参加者が、「この火を

絶やさないように」と、全国各地で活動を始めています。奈良県でも月一回は修練会を行おうと、早速集まっています。

佐藤 関東では参加者の自主的な声掛けで、振り返り修練会をすることになりました。今回の動画や資料を参考にしながら、皆で学んだことを復習していこうと思っています。

松田 教区長が集まる場はあっても、道院長の中でも事務局を行っている世代が集まる場はあまり多くありません。道院長研修会の前など、集まりやすいときにぜひ集まってこの合宿で上がった炎に薪をくべていきたいと思っています。

終わりに

合宿及び対談を通して、中堅道院長たちの、道院と地域をけん引していくという熱い想いを受け取った。悩みや葛藤を抱えながらも、金剛禅の価値を力強く語り、今後の夢を話してくれた彼らは、教団にとつてまさに宝のような存在である。これから更なる修行を積み、3年後の少林寺拳法創始80周年には、全国各地でリーダーとなって布教を先導していることと期待している。本山も全力で、時に支え、時に励まし、一丸となって教団の未来を創っていくと、決意を新たにしたい。

担当/内藤大将

【お知らせ】 次回、中堅道院長「鍛錬」特別合宿は、2025年10月11日(土)・12日(日)東京別院にて開催の予定です!